

平成 30 年度事業報告書概要版

(社会福祉法人静岡市しみず社会福祉事業団)

1 事務局：昭和 57 年 4 月設立

1 主たる事業

本年度も市より各施設に係る管理業務を受託し、障害者総合支援法に基づく法定施設及び受託施設の円滑な運営を図るとともに、経理、出納、物品の取扱い等の各種事務、財産の維持保全、予算、決算事務を行った。

また、指定管理事業者として利用者の視点に立ち、長年培ってきた支援技術と福祉サービスの充実を図るとともに、経営の健全化と安定化を図った。

2 評議員会、理事会の開催状況

会議名	開催回数	延出席人数	主な審議事項
評議員会	3 回	19 人	・平成 29 年度事業報告及び各種会計収支決算の認定 ・役員を選任 ・施設管理に係る協定の締結 ・平成 29 年度各種会計収支補正予算 ・平成 30 年度事業計画及び各種会計収支予算 ・苦情解決結果状況報告 ・理事長専決事項報告等
理事会	5 回	26 人	

3 監事監査

平成 30 年 5 月 31 日、監事 2 人による平成 29 年度関係の決算書類及び付属関係書類、関係諸帳簿との照合、係数検査等の監査を受け、適正、かつ正確に行われたとの報告を受けた。

4 第三者委員への苦情・要望内容の報告会

平成 30 年 5 月 31 日、各施設に寄せられた苦情・要望内容について第三者委員 2 人に報告したが、個々の苦情解決並びに直接、施設運営適正化委員が受け付けた案件はなかった。

5 職員配置状況

正規職員 40 人、嘱託職員等 26 人の計 66 人を各施設にそれぞれ配置し、業務に万全を期した。

6 職員研修

内部講師による階層別研修を計画的に実施したほか、虐待防止や交通安全に関する全体研修、専門研修、視察研修等に積極的に参加し、資質の向上に努めた。

7 防災訓練

年 3 回、事業団全施設を対象に、地震による火災発生を想定した初期消火訓練や避難誘導訓練、津波避難訓練等の総合防災訓練を実施した。

また、平成 28 年度から実施している大規模な災害を想定した宿泊を伴う防災訓練には、事業団利用者並びに地域住民の方、123 人が参加した。

2 静岡市清水みなとふれあいセンター（身体障害者福祉センター）[昭和 57 年 4 月開設]

在宅障害者を対象に機能訓練や創作的活動を行ったほか、障害者団体が実施する事業の運営協力、一般市民を対象にした施設見学や福祉体験の受入れ、静岡市から委託を受けた手話奉仕員養成講座、移動支援従事者養成研修、要約筆記者養成講座の開催等、各種事業を実施した。

1 機能訓練及び創作的活動内訳

事業	内容	実施延回数	参加人員
機能訓練 社会参加促進	書道・ペン習字・パソコン 陶芸等 計 7 教室	74 回	881 人
体力増進	卓球・ボッチャ・水中運動・グ ラウンドゴルフ等 計 8 教室	129 回	1,516 人
合計		203 回	2,397 人

2 委託事業内訳

事業	内容	実施回数	参加人員	参加延人員
手話奉仕員 養成講座	葵・駿河区 [昼の部]	46 回	35 人	1,238 人
	清水区 [夜の部]	46 回	32 人	1,112 人
移動支援従事者 養成研修	城東福祉エリア会場	3 日間	15 人	29 人
	駿河区役所会場	3 日間	20 人	38 人
要約筆記者 養成講座	手書きコース	11 回	5 人	52 人
合計		109 回	107 人	2,469 人

3 施設利用等内訳

区分	件数
会議室	12 件
運動広場	67 件
多目的ホール	13 件
合計	92 件

3 静岡市清水ひびきワーク（生活介護事業所・定員：20 名）[昭和 57 年 4 月開設]

利用者の生活を支援するために個別支援計画を作成し、利用者が自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう生産活動又は創作的活動の機会の提供、その他の支援を適切かつ効果的に行った。

また、利用時間の延長の取組みとして、利用時間前・後の受入れ、個別支援計画に基づいた支援の対応を行う等、概ね計画どおり進めることができた。

1 利用者の状況（平成 30 年度末利用契約人員：16 人）

(1) 年齢調べ

最長	最少	平均
65 歳	35 歳	46.9 歳

(2) 平均在所年数

男子	女子	全体
18.6 年	21.9 年	19.6 年

(3) 身体障害者手帳調べ

等級	1	2	3	4	5	6	計
人数	10 人	3 人	2 人	0 人	1 人	0 人	16 人

(4) 障害支援区分(受給者証)内訳

区分	1	2	3	4	5	6	計	平均
人数	0 人	0 人	4 人	3 人	8 人	1 人	16 人	4.38

(5) 入退所状況

入所	退所
1 人	2 人

(6) 利用状況

開所日数	利用延人員
268 日	2,958 人

2 生産活動

(1) 内容

事業所名	内 容
外岡作業所	箱折(ケーキトレー、菓子の箱折り、ひも通し)
蒔田紙器(株)	ダンボール型抜き、組み(薬品梱包用)
安藤紙業(株)	分別作業

(2) 収入状況

年度別	平成 30 年度	平成 29 年度	増減
収入金額	729,425 円	939,426 円	△210,001 円

(3) 工賃支給状況(月額)

最高	最低	平均
15,650 円	270 円	2,964 円

3 主要行事等

行事名	実施月	回数
生活支援	月 1 回程度	12 回
選択活動、外出活動 (ボウリング・ランチタイム・JR利用等)	随時	17 回
スポーツフェスティバル	5 月	1 回
バスハイク(明治製菓)	10 月	2 回
県障害者スポーツ体験	11 月	1 回
新春もちつき大会	1 月	中止

この他、避難訓練、健康診断等を実施した他、施設入所を前提とした体験実習、大学、専門学校生の実習、市民ボランティアを積極的に受け入れた。

4 静岡市清水うみのこセンター(母子療育訓練センター)[昭和 57 年 4 月開設]

心身に障害があると思われる乳幼児の早期発見、早期療育を目的に、療育相談や指導、生活自立への支援等を行うとともに、地域の関係機関と共通理解のもと連携して発達が気になる子どもとその保護者を対象に、一人ひとりの状況に応じた発達支援、子育てに努めた。

また、慶應義塾大学の心理学研究室で作成したコミュニケーション発達を育てるビデオを用いたペアレントトレーニングは、保護者から好評を得るなど、概ね計画どおり進めることができた。利用児増に伴い、年度途中から非常勤嘱託職員を雇い入れ、支援の充実を図った。

1 登録者実人員 197 人

2 利用状況内訳

区分	訓練	交流保育	特別指導	訪問指導	相談業務	計
延人数	2,887 人	170 人	49 人	194 人	2,357 人	5,657 人

3 主要行事等

行事名	実施月	回数
特別支援学校・学級見学	随時	15 回
年長児母親教室 その他の母親教室	随時	9 回
親の会(シンデレラクラブ)	随時	6 回
父親参加会	11 月・3 月	2 回
新春もちつき大会	1 月	中止

この他、避難訓練等を実施した。また、他機関、関係団体等に対して、必要に応じて職員を派遣し、連携を図った。

5 静岡市清水うしおワーク（多機能型事業所・定員：50名）[昭和58年4月開設]

定員30名の生活介護事業と定員20名の就労継続支援B型事業の多機能型事業所として事業を行った。

また、利用時間の延長の取組みとして、利用時間前・後に延1,328人を受入れ、個別支援計画に基づいた支援の対応を行う等、概ね計画どおり進めることができた。

1 生活介護事業(定員30名)

利用者が自立した日常生活又は社会活動を営むことができるよう個別支援計画を作成し、創作的活動や生産活動の機会の提供、その他の支援を適切かつ効果的に行った。

生産活動については、受注先である企業との連絡を密にして安定した作業量の確保に努めた。

1 利用者の状況(平成30年度末利用契約人員：32人)

(1) 年齢調べ

最長	最少	平均
69歳	21歳	44.5歳

(2) 平均在所年数

男子	女子	全体
20.2年	20.4年	20.3年

(3) 療育手帳調べ(単位：人)

区分 性別	A	B	計
男	23	2	25
女	6	1	7
計	29	3	32

(4) 障害支援区分(受給者証)内訳

区分	1	2	3	4	5	6	計	平均
人数	0人	0人	3人	19人	9人	1人	32人	4.3

(5) 入退所状況

入所	退所
0人	3人

(6) 利用状況

開所日数	利用延人員
269 日	7,497 人

2 生産活動

(1) 内容

事業所名	内 容
ベイプレス	チラシ配り
(有)鈴恵工業	プラスチック製品の袋詰め
(株)日立ジョンソン コントロールズ空調	エアコン部品の加工
安藤紙業(株)	古紙回収
(株)池田ネジ商会	ネジの組込み

(2) 収入状況

年度別	平成 30 年度	平成 29 年度	増減
収入金額	2,615,472 円	2,548,601 円	66,871 円

(3) 工賃支給状況 (月額)

最高	最低	平均
13,697 円	630 円	4,629 円

3 主要行事等

行事名	実施月	回数
レク活動(ボウリング・カラオケ等)	随時	22 回
スポーツフェスティバル	5 月	1 回
中部地区交流スポーツ大会	6 月	1 回
バスハイク(掛川花鳥園)	7 月	1 回
オレンジマラソン大会	11 月	1 回
一泊旅行(横浜方面)	10 月	1 回
クルージング	12 月	1 回
カラオケ外食	3 月	1 回

この他、避難訓練、健康診断等を実施した他、施設入所を前提とした体験実習、大学、専門学校生の実習を積極的に受け入れた。

2 就労継続支援B型事業(定員：20名)

利用者が自立した日常生活又は社会活動を営むことができるよう個別支援計画を作成し、生産活動の機会の提供、その他の支援を適切かつ効果的に行った。

生産活動については、受注先である企業との連絡を密にして安定した作業量の確保に努めた。

1 利用者の状況(平成30年度末利用契約人員：19人)

(1) 年齢調べ

最長	最少	平均
69歳	36歳	50.3歳

(2) 平均在所年数

男子	女子	全体
16.4年	16.6年	16.5年

(3) 療育手帳調べ(単位：人)

区分 性別	A	B	計
男	6	10	16
女	0	3	3
計	6	13	19

(4) 障害支援区分(受給者証)内訳

区分	無	1	2	3	4	5	6	計
人数	8人	0人	0人	5人	5人	1人	0人	19人

(5) 入退所状況

入所	退所
0人	0人

(6) 利用状況

開所日数	利用延人員
272日	4,095人

2 生産活動

(1) 内容

事業所名	内 容
(株)日立ジョンソン コントロールズ空調	エアコン部品の加工
ボカシ作業	ボカシ製造、袋詰
ニッケー工業	エアコン部品の加工
安藤紙業(株)	古紙回収
(株)池田ネジ商会	ネジの組込み

(2) 収入状況

年度別	平成 30 年度	平成 29 年度	増減
収入金額	4,568,549 円	4,855,222 円	△286,673 円

(3) 工賃支給状況 (月額)

最 高	最 低	平 均
33,226 円	3,541 円	17,195 円

3 主要行事等

行事名	実施月	回数
レク活動(ボウリング・カラオケ等)	随時	21 回
園芸市出店	4 月・10 月	3 回
スポーツフェスティバル	5 月	1 回
中部地区交流スポーツ大会	6 月	1 回
バスハイク	8 月	1 回
オレンジマラソン大会	10 月	1 回
一泊旅行(伊豆方面)	11 月	1 回

この他、避難訓練、健康診断等を実施した他、施設入所を前提とした体験実習、大学、専門学校生の実習を積極的に受け入れた。

6 静岡市清水うなばら学園（生活介護事業所・定員：60名）[平成3年4月開設]

定員60名の施設で、利用者が自立した日常生活又は社会活動を営むことができるよう個別支援計画を作成し、それぞれの特性や能力を活かして、健全な社会生活を営むことができるよう、生活、学習、作業支援等を実施した。

生産活動については、木工、手芸の自主製品の他、受注先である企業との連絡を密にして安定した作業量の確保に努めた。

また、利用時間の延長の取組みとして、利用時間前・後に延341人を受入れ、個別支援計画に基づいた支援の対応を行う等、概ね計画どおり進めることができた。

1 利用者の状況(平成30年度末利用契約人員：56人)

(1) 年齢調べ

最年長	最年少	平均
50歳	19歳	34.8歳

(2) 平均在所年数

男子	女子	全体
13.3年	19.8年	14.8年

(3) 療育手帳調べ(単位：人)

区分 性別	A	B	計
男	41	2	43
女	13	0	13
計	54	2	56

(4) 障害支援区分(受給者証)内訳

区分	1	2	3	4	5	6	計	平均
人数	0人	0人	0人	14人	24人	18人	56人	5.1

(5) 入退所状況

入所	退所
1人	6人

(6) 利用状況

開所日数	利用延人員
266日	12,303人

2 生産活動

(1) 内容

内容	事業所名等	内 容
請負作業	安藤紙業(株)	CDソフト等の分解・分別
	リサイクル	アルミ缶つぶし・卵の殻肥料づくり
自主作業	手芸	刺し子・袋物等
	木工	花台・キーホルダー・プランターアクセサリー等の切り出し

(2) 収入状況

年度別	平成 30 年度	平成 29 年度	増減
収入金額	596,414 円	699,858 円	△103,444 円

(3) 工賃支給状況 (月額)

最高	最低	平均
1,530 円	30 円	657 円

3 主要行事等

行事名	実施月	回数
個別活動 (クルージング・プール・ボウリング等)	随時	28 回
班活動 (外食・工場見学・創作活動等)	随時	36 回
スポーツフェスティバル	5 月	1 回
中部地区交流スポーツ大会	6 月	1 回
宿泊活動(1・2、3・4班)	9 月	2 回
全体班活動(焼いも体験)	10 月	1 回
クリスマス外食(サンマルク焼津)	12 月	2 回

この他、避難訓練、健康診断等を実施した他、施設入所を前提とした体験実習、大学、専門学校生の実習を積極的に受け入れた。

7 静岡市清水なぎさホーム（生活介護事業所・定員 20 名）[平成 8 年 4 月開設]

在宅の重度障害者を対象に、日常生活訓練を主体とした支援を行い、身辺自立の促進及び家庭介護の軽減を図った。

また、「ライフサポート(日帰りショート)の充実」では、1回の受け入れ人数を5人とし、全7回実施。「音楽療法の充実」では、毎月1回、年12回実施。また、「他事業所との連携」については、サポートセンターそら(生活介護事業所)との合同運動会の実施等積極的に取り組み、おおむね計画どおり事業を進めることができた。

1 利用者の状況(平成 30 年度末利用契約人員：16 人)

(1) 年齢調べ

最長	最少	平均
50 歳	21 歳	35.3 歳

(2) 平均在所年数

男子	女子	全体
12.7 年	8.1 年	10.6 年

(3) 身体障害者手帳調べ

等級	人数
1 級	13 人
2 級	1 人
無	2 人
合計	16 人

※利用者全員療育手帳(A)を所持。

(4) 障害支援区分(受給者証)内訳

区分	1	2	3	4	5	6	計	平均
人数	0 人	0 人	0 人	0 人	1 人	15 人	16 人	5.9

(5) 入退所状況

入所	退所
1 人	2 人

(6) 利用状況

開所日数	利用延人員
267 日	3,150 人

2 主要行事等

行事名	実施月	回数
外出活動(七夕まつり・登呂博物館等)	随時	10回
誕生会、クッキング	随時	9回
季節行事 〔合同運動会、節分、ひなまつり〕	随時	3回
音楽療法	毎月	12回
リハビリ指導	随時	3回
県障害者スポーツ体験	11月	1回
ライフサポート事業	随時	7回

この他、避難訓練、健康診断等を実施した他、施設入所を前提とした体験実習、大学・専門学校生の実習を積極的に受け入れた。

3 送迎サービス

送迎を希望する利用者(16人)に対して、毎日、個別送迎を実施した。

8 障害者相談支援センターわだつみ(相談支援事業) [平成24年11月開設]

1 特定相談支援・障害児相談支援

静岡市の指定を受けて特定相談支援事業と障害児相談支援事業を行った。

利用者が、そのライフステージに応じた自立した日常生活、又は社会生活が営むことができるよう、利用者やその家族からの相談に応じ、サービス等利用計画の作成及びモニタリングを行い、地域の障害児(者)とその家族の福祉の向上に努めた。

1 相談の状況

区分	サービス等 利用計画	モニタリング	本書 モニタリング
特定相談	171件	258件	22件
障害児相談	55件	76件	11件
合計	226件	334件	33件

2 障害者等相談支援 平成 13 年 10 月事業受託・清水区を担当

静岡市の委託事業で、静岡市障害者等相談支援事業実施要綱に基づき、相談支援事業、障害児等療育支援事業、障害者虐待防止センター事業の各業務を実施し、障害児者等とその家族の福祉の向上を図った。

1 相談支援事業

(1) 相談支援実績

区 分		実 績
開設日数		244 日
相談支援	実人数	698 人
	延件数	3,071 件
個別支援計画	作成件数	0 件
	作成支援件数	0 件
個別支援会議	開催回数	8 回
	参加回数	40 回
自立支援協議会 開催・参加状況	事務局会議	10 回開催
	区連絡調整会議	2 回開催
	全体会議	4 回参加
	市自立支援会議	2 回参加

(2) 支援方法内訳 (単位：件)

区分	訪問	来所 相談	同行	電話 メール	個別支 援会議	関係 機関	その他	計
身体障害	4	3	1	13	0	23	0	44
知的障害	363	156	174	1,404	49	853	0	2,999
精神障害	4	0	1	21	0	2	0	28
計	371	159	176	1,438	49	878	0	3,071

(3) 相談延件数の支援内容別内訳（単位：件）

内 容	件数	内 容	件数
福祉サービスの利用等	1,054	生活技術	146
障害や病状	136	就労	159
健康・医療	478	社会参加・余暇活動	29
不安の解消等	457	権利擁護	72
保育・教育	39	障害者虐待	10
家族関係・人間関係	141	その他	16
家計・経済	334		
		合 計	3,071

2 障害児等療育支援事業

内 容	回数	参加人数
訪問による療育指導	1回	20人
外来による専門的な療育相談、指導	6回	66人
療育技術の指導	6回	16人
療育機関に対する支援	2回	37人
合 計	15回	139人